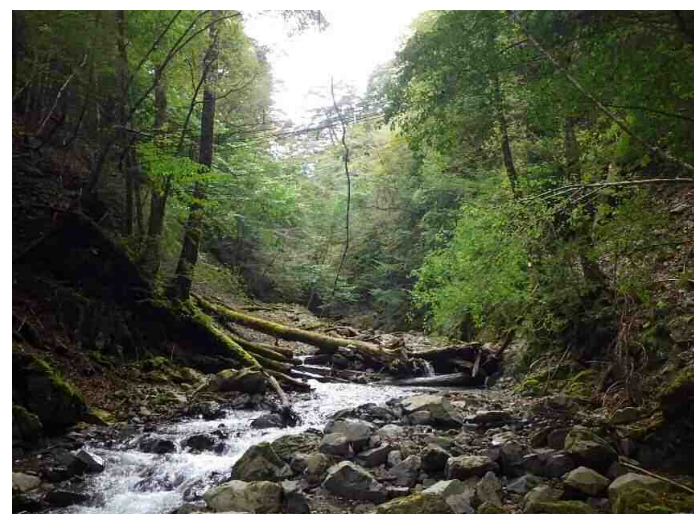
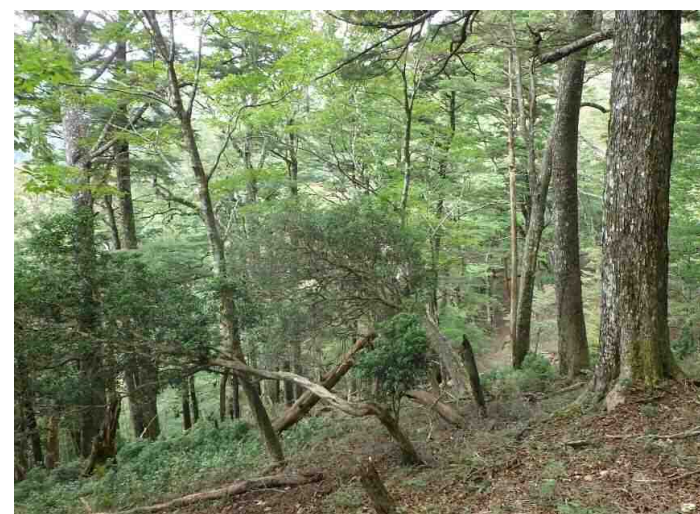


亀谷ツガ・ブナ希少個体群保護林

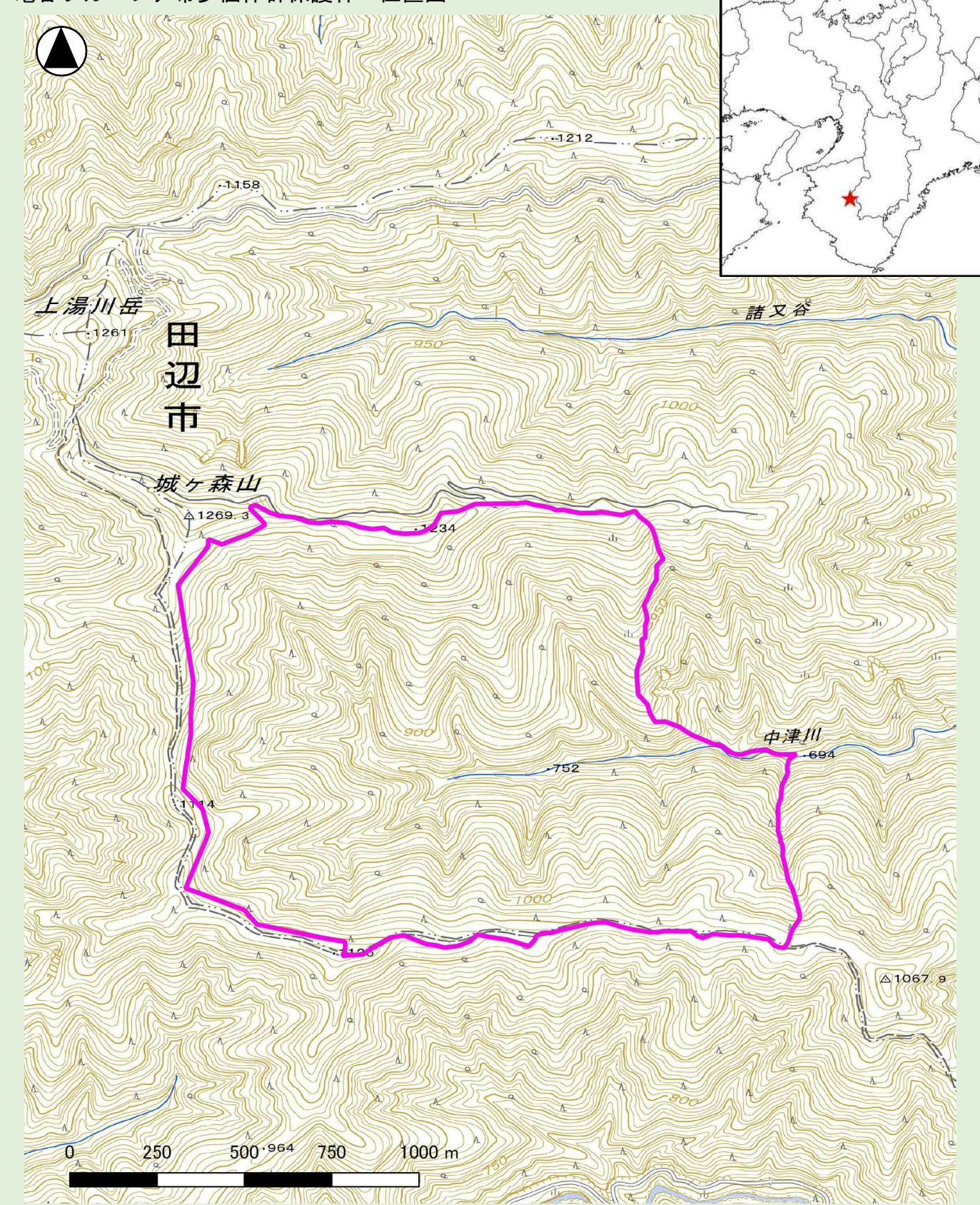
管轄森林管理局・署	近畿中国森林管理局・和歌山森林管理署
所在地・面積	和歌山県田辺市 ・ 215.81ha
設定年	平成5年4月1日、平成30年4月1日再編に伴う名称変更及び管理方針書設定
保護林の概要	<p>当該区域は、城ヶ森山南東の谷を囲む天然林で、急峻な地形と深い溪谷から成り立っている。近接する護摩壇山～大塔山にかけては紀州の屋根と呼ばれ、ブナの自然林が残存している貴重な地域となっている。</p> <p>森林植生は、尾根～斜面地にツガやモミ、ブナ、ミズナラの大径木が生育しており、コカンスゲツガ群集やブナ-ミズナラ群落分布しており、谷部にサワグルミやトチノキからなるサワグルミ群落が形成されている。</p> <p>保護対象種であるツガ、ブナの大径木が見られるが、低木層はアセビやシキミが優占し、草本層の生育数は少なく、植被率も10%以下と低い。</p>



モニタリング調査の概要

実施年度	令和4年度
調査項目	森林タイプの分布等調査、樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査、山火事等災害発生状況調査、病虫獣害・気象害発生状況調査、保護対象種生育状況調査、利活用実態調査、管理体制実態調査
結果概要	<p>保護対象種であるツガ、ブナは良好に生育していると判断され、母樹となるツガ、ブナの大径木が多数確認され、ツガにおいては小径木や実生の生育も確認された。</p> <p>今回調査したツガ群落の森林は、現状において原生的な天然林が維持されているが、ニホンジカの食害により下層植生が貧弱となり、低木層以下で嗜好性植物が優占している状況が確認されていることから、群落の維持・更新への影響が懸念される。</p> <p>これらのことから、当該保護林はニホンジカによる森林被害が顕在化している地域と判断される。</p>

亀谷ツガ・ブナ希少個体群保護林 位置図



保護林内での注意事項

- ★貴重な植物群落の保護にご協力ください。
- ★植生の荒廃防止のため、歩道を外れて歩かないでください。
- ★許可なく動植物の捕獲及び採取をしないでください。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。